

第38回原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 2009年10月13日(火) 10:30~10:40

2. 場 所 中央合同庁舎4号館 6階 643会議室

3. 出席者 原子力委員会

田中委員長代理、松田委員、広瀬委員、伊藤委員

内閣府

中村参事官、瀧上企画官、牧参事官補佐、千葉参事官補佐

4. 議 題

(1) 平成22年度原子力関係経費の見積りに関する基本方針について

(2) その他

5. 配付資料

( 1 ) 平成22年度原子力関係経費の見積りに関する基本方針(案)

6. 審議事項

(田中委員長代理) 全員そろいましたので、第38回原子力委員会を始めさせていただきます。

本日は委員長がフランスの専門家との会合にご出席のため、私が代理で司会進行をやらせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、今日の議題ですけれども、1番目が、平成22年度原子力関係経費の見積りに関する基本方針について、2番目が、その他になっています。

(1) 平成22年度原子力関係経費の見積りに関する基本方針について

(田中委員長代理) 原子力関係経費の見積りにについては、先に7月7日の原子力委員会で決定をしておりますけれども、新しく内閣が発足して予算見積りの方針が変わりましたので、それに沿って少し見直しを図ったというものでございます。

それでは、事務局からご説明をお願いします。

(中村参事官) それでは、牧参事官補佐からご説明いたします。よろしくお願いします。

(牧参事官補佐) それでは、資料1号でございます。平成22年度原子力関係経費の見積りに関する基本方針(案)ということでございます。

田中代理がおっしゃったとおり、これにつきましては7月7日付で平成22年度の方針を決定しているところでございますけれども、ご案内のとおり、9月に新内閣が発足いたしまして、現在各省庁においても予算編成をやり直すというような作業をやっている段階でございます。そのようなことで、原子力委員会の原子力関係経費の見積りに関する基本方針の決定につきましても、新政権に対応する形で変更したいと考えているところでございます。

資料第1号ですが、先に2ページの2番目のパラグラフをご覧ください。2番目のパラグラフで7月7日付の基本方針を引いてございますが、これを廃止した上で、今回お諮りしております10月13日付の決定をしていただくという趣旨でございます。

1ページ目に戻ってください。1.のところには基本認識ということを書いてございます。7月7日に決定したものにつきましても基本認識は同じようなものを書いてございます。ここでは、例えば温室効果ガス排出量の削減目標ということで、今年の6月に麻生総理が記者会見で言われた目標等を引いた形で基本認識を構成していたわけでございますけれども、これを新内閣に合わせた形にしたいと考えてございます。

具体的には、3番目のパラグラフをご覧ください。該当の部分を読ませていただきます。『平成21年9月16日に鳩山内閣が発足し、今後の政権運営の基本方針が示され、9月29日には「平成22年度予算編成の方針について」が閣議決定された。さらに、9月25日に行われた第64回国連総会における鳩山総理大臣の演説において、すべての主要国の参加による意欲的な目標の合意が前提であるとした上で、「我が国の新たな温室効果ガスの削減目標として、2020年までに1990年比で25%の削減を目指す」旨が表明された。』この文章を入れてございます。これはいわゆる鳩山イニシアティブでございますが、それに対応する形にするため、この認識という形で入れさせていただいております。

それから、基本認識の第1パラグラフのところでございます。こちらには麻生総理時代の目標等を記載していたわけでございますが、それを削除いたしました。一方で、変更点といたしましては、昨年3月にまとめました「地球温暖化対策としての原子力エネルギー利用拡大のための取組について」、これは原子力委員会の下に「地球環境保全・エネルギーの安定供給のための原子力のビジョンを考える懇談会」という懇談会をつくりまして、この問題に

ついて原子力委員会としてもとりまとめたところがございますので、こちらを基本認識の中で記載させていただきました。

そのほか、てにをは等を直してございます。

他に修正したところでは、1 ページ目の4 番目のパラグラフです。「安全の確保を大前提に、国民の理解と信頼を得ながら」という部分がございます。以前は国民の理解と信頼を得ながらという部分は当たり前のものとして書いていなかったのですが、今回は民主党のマニフェストを引くような形でございまして、民主党のマニフェストでは「安全を第一として、国民の理解と信頼を得ながら原子力利用について着実に取り組む」という表現がございますので、こちらに対応するような形で基本認識とさせていただきました。

次に、2 ページ目でございます。2. として基本方針と書いてございます。こちらには(1) から(7) までを書いてございますが、基本的には7月にまとめたものと同じ記載をしてございます。修正点といたしましては1点だけでございます。2 ページ目の(1) のところ、このパラグラフの下の方で原子力安全委員会が決定いたしました「原子力の重点安全研究計画」を引用しているところがございます。こちらにつきましては、7月に基本方針をまとめて以降、8月に原子力安全委員会第2期の安全研究計画というものをつくってございますので、この機に合わせてそちらを修正させていただきました。

主な修正点は以上でございます。私の説明は以上でございます。

(田中委員長代理) 以前決定した時に議論していただいて意見はいただいておりますが、改めてご意見をいただきたいと思っておりますので、何かありましたらご発言をお願いします。

伊藤委員、お願いします。

(伊藤委員) この基本方針につきましては、今説明がありましたとおり、基本認識のところを最近の状況に合わせて修正したということで、後は基本的にこの7項目を柱にしていくということ、私もこれで良いと思っております。しかし、基本的な精神というのは、これは前のものと本質的に変わっているものではなく、二酸化炭素を排出しないという目的のために、基幹電源として最大限活用されなければならないということは、これはもう当然であり、今後ともそういうことでもあります。

1 ページの最後、基本認識の最後のところに書いてある、安全確保を大前提に、国民の理解と信頼を得ながら着実に、しかも短期、中期、長期のいずれも着実に進めていく、そして3 ページの冒頭にある無駄を徹底的に排除し、資源を集中するとともに、効率的に推進するという精神は、前といささかも変わるものではないということで、引き続き着実に原子力を

進めていくことが大事という認識を込めた基本方針だと思っております。この方針に私は同意をしています。

以上です。

(松田委員) 新しい政権になって、色々な政策が見直されているところですが、原子力委員会として新政権に沿うかたちで、基本方針も確認しました。この新しい方針に沿って、各省庁がまた予算をきちんと取っていただけるように頑張っていたきたいと思います。この案に同意します。

(広瀬委員) 基本的にはこれで全く異論はありません。鳩山首相が25%の削減目標を世界に向けて公言したということで、それを達成するためにさらに原子力の必要性というのが認識されるのではないかと思います。その点ではこれをしっかりと実現、実行していくように、我々も努力しますし、関係の方々の努力が必要だと思います。

(田中委員長代理) ありがとうございます。それでは、私からも一言申し上げます。

予算の見積りに関して、マニフェストに沿って予算案を編成しなさいということが9月に出されました本政権での方針ですので、改めて民主党のマニフェストを眺めてみたところ、原子力利用については「安全を第一としてエネルギーの安定供給の観点も踏まえ、国民の理解と信頼を得ながら着実に取り組みます」ということが書いてあります。

それからもう1つ、原子力委員会としてはこのマニフェストには明確には記載されておられませんけれども、広瀬先生からご指摘がありましたように、地球の温暖化に対して、二酸化炭素の25%の削減のために原子力は必ず必要とされると私どもとしては認識しております。その点も踏まえて、この基本方針は書かれていますので、ぜひこれを武器にして、良い予算を各担当部局で確保できるように努力していただければと思います。

それでは、基本方針はこれでよろしいでしょうか。

皆さんの同意が得られましたので、これで委員会決定とさせていただきます。ありがとうございます。

それでは、次の議題。

## (2) その他

(中村参事官) その他の議題は、事務方では特に準備してございません。

(田中委員長代理) 先生方もよろしいでしょうか。

それでは、これで終わります。少し短かったです。大事な決定をさせていただきました。

次回の連絡をいただいて終わりにします。

(中村参事官) 次回、第39回の原子力委員会の定例会議につきましては、来週、10月20日火曜日の10時30分から、この会議室ではなくて10階にあります1015会議室を予定してございます。

以上です。

(田中委員長代理) それでは、これで終わります。

どうもありがとうございました。